



発行所 磐城日日新聞社 福島県小名浜町落通51 電話代表387番 振替台合31,355番 編集長 長瀬芳郎

元日に晴れの授賞

海事作品に小名中歴倒入賞

第十二回海の日記念日に際し、一月一日をめぐり、受賞者として東北海運局では管下十校で行われることとなり、四海運局出張所々々在地中、学生徒から海事作品を募集、三百五十二篇のほ...

植田町臨時議會

水利権等を可決

植田町臨時議會は十九日、町防施設設起債の件、消防ポンプ購入一時不決定案に於いて開き第一議案の案の中學校建築起債の件本年(年度内)に百万円を決定、第二議案上...

今日の主張

開設の挨拶

磐日 梅野 隆

小名浜町中愛すべき人物の一人である阪田宗秋氏は本紙を評して赤新聞と尊称した。悪意のない酷評で、別に腹も立たなかつたが、骨のない節操と御座成りの風潮を嘆つた眞に有難い忠告の言葉として頂戴した。しかしその時梅野隆氏は頭の天つぱんが薄くない血の氣の多い青年であつたら、何をこの野郎俺のどこぞと心ひそかに決意し...

年賀はがきは事務用印刷物 長瀬印刷株式会社

田助役証明の必要量(三ヶ)を確保する事に決定第四号議案植田町振興委員会條例の件、顧問に選...

水素二役再選 日本水素労働組合の三役選挙及び青年婦人部の三役選挙等は二十日正午より同組合事務所で開催の結果、組合長杉山義雄、書記組長金子武四、書記長坂倉裕を再選し、青年婦人部長は佐藤實、副部長長安倍英、同副代表子、書記長坂野希を夫々信任した。

電燈料怪しからぬ 石城地区定時制高専連絡協議会は二十一日午前十一時より内郷高校に於て開かれ、専立高校にもかかわらず夜間電燈料の半額が生徒の負担となつて生れていく苦境に於いては、定時制生徒に加重の苦痛となつて勉学心を殺している現状に鑑み、電燈料金の金額支出を懸に陳情することを決議した。

高校定時制協議會 磐城日日

錦工場の入札 吳羽化学工場では十八日午後一時より同工場会議室にて地元の業者等を招いて、同工場ソーダ工場中和槽の工事内容について説明を聞き、来る二十二日勝呂組、錦興業株式會社、高木組、高橋組、出戸組、金成組の六氏の指名入札を行ふ事になった。

靴専門店 菊 一目でわかる穿き心地の良い靴は... 各種靴の価格表

今年のXマスカードは... 昭和堂文具店

有名品はたしかに 信州味噌 中島「正駒酒店」で販賣中

経営をかげずに良し 専門店会チケツト御利用下さい

Xマスセール 12月20日~30日迄 贈答品は一律お買上金百円毎に

緑屋製造元 小名浜町鹿島町 毎度御いさぎ有難うございます

温泉旅館 湯本町 電話十三番

僻地教育を現地に見る

山斯道で急坂登り

驚く四時川分校の近代設備

教育の平等は僻地教育の振興からと、最近各町村共に、僻地の振興策を一段と強化...

十二月二十日午前九時三十分植田町営林署(署長滝澤政雄氏)の特別の好意に依つて同署の庶務課長鈴木貞氏の貴重な案内者として乗せた植田町...

霊峰佛具山下の絶壁を縫うて走る

町を通り過ぎて川部村と、やがての青い森が大地を襲撃した。植田町を走つて来た、...



出発して二時四十分、もてう佛具山の嶺は車の後に見え、車は男大平貯水場に到着した。ゆれにゆれた旅だつた。...

ラジオも自家発電

恵まれた文化施設

一同を教室に集めて鈴木課長がノート、鉛筆、予事、新聞、繪本など澤山のプレゼントに子供達は物珍らしく喜んで居る。...

平和郷の分教場

村びと夫婦の談

「何より嬉しい事は、この山の中に居て、電燈が本當に幸福です。新聞を灯け(自家発電)ラヂオを聴き、分校の電燈のオモロイを耳にしなが...

文化住宅(教員住宅)が建てられ二〇〇坪の庭には鉄棒、ブランコなどが設備されている。...

小名に初雪

例年より遅い 二十一日冬陽をささぎつて初雪がちらつき俳句が一句ひねられていたが...

魚菜市況

(小名浜中央魚菜市場) 卵一、二、二大根八、二甘藷三、三三牛...

天気予報

(本日) 北西の風晴れた曇つたりで北部山沿では割合曇が多く小雨のち...

冬服地入荷 純毛服地専門店 大井洋服店

最新流行の履物類 西町のヨドヤ履物店

高級酒 小名浜町 清水屋酒造

お座敷増築!! 忘年会...新年会には是非どうぞ

今日は会社の月給日 中川信夫監督 伊豆・金語楼

要節子儀十二月二十日午後九時死去した... 堀越常雄 堀越貞一 堀越善六